

西尾市事務評価シート

事務No.	27-004	事務内容	農業共済の連絡調整に関すること				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	平成23年度		担当課名	農林水産課
予算科目	06款	01項 02目	大事業	03	中事業		
事務事業名 (中事業名)	愛知県農業共済組合市町負担金 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	本来賦課すべきと定めた賦課金と実際に組合員から徴収する賦課金の差額を補てんするため
事務の対象 (誰(何)のために)	愛知県農業共済組合
事務の概要 (具体的に何を)	農業共済事業事務費賦課金差額負担金を支払う 平成29年度で事業終了

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	150,647円	166,000円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.0人	
人件費②	707,298円	710,461円	0円	
総事務費③(①+②)	857,945円	876,461円	0円	
財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	857,946円	876,461円	0円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	18,516円	H29 総事務費③の対前年度比率	2.16%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	負担金			166,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
						0円	

●事業の終期

事務No. 27-004

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価			
	妥当性	市が実施することが適当であるか		3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2	公平性	事務時間は適切なものになっているか	3	
	妥当性	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		公平性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3		公平性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	3
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3	公平性	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3	
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
	評価の総合的なコメント		平成26年度4月の愛知県農業共済組合の合併に伴い、平成29年度までの間は発足前の市町で異なる単価の差を負担することと協議したものであり、愛知県農業共済組合の運営に必要な経費である。				
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。					
	(理由)	当初の予定通り、単価の差の問題を解消したため廃止した。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性							
事務全体の課題							

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	愛知県農業共済組合に関係する市町は同様である。
---------------	-------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	なし
--------	----

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成した事務を廃止することは評価できます。
----------	--------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	27-017	事務内容	恵の木に関すること				
総合計画施策コード	---	事務開始年度	昭和50年度		担当課名	農林水産課	
予算科目	06款 01項 03目	大事業	07	中事業	00		
事務事業名 (中事業名)	恵の木配布事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	緑化に対する意識向上と生活に潤いを持たせる
事務の対象 (誰(何)のために)	出生届を提出した市民に、恵の木引換券を配布
事務の概要 (具体的に何を)	西尾市憩の農園において、花き・植木等と引き換えた恵の木の引換業務の委託料 平成30年8月末で、事業廃止

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	397,597円	421,000円	200,000円
人工	0.1人	0.1人	0.1人
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	1,104,895円	1,131,461円	918,991円
財源内訳③ の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	1,104,895円	1,131,461円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	26,566円	H29 総事務費③の対前年度比率	2.40%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	消耗品費	電卓 1台×8,538円	8,538円
	委託料	引換券1,000円×413枚	413,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	引換券配布枚数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	引換券交換枚数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	2,297円		2,740円		4,595円		

●事業の終期

事務No. 27-017

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価	評価項目	評価
	評価		評価
妥当性	2	市が実施することが適当であるか	3
	3	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3
	3	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3
有効性	3	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3
	3	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3
	3	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3
評価の総合的なコメント	出生の記念に渡しているが交換率が3割程度と低く、緑化に対する意識の改革が必要だと感じる。		
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。	
	(理由)	交換率が低い本事業を継続する必要があるか議論した結果、廃止とした。	
民間委託又は市民協働拡大の方向性	今年度より J A 西三河が事業主体として実施している。		
事務全体の課題	交換率を上げる手法が課題。		

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	結婚や出生を記念とした記念樹の配布を実施している自治体は2市。
---------------	---------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	なし
--------	----

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	問題意識を持ち、議論の結果事務を廃止することは評価できます。
----------	--------------------------------

# 西尾市事務評価シート

事務No.	27-033	事務内容	農林水産振興展に関すること				
総合計画施策コード	14-	事務開始年度	平成16年度		担当課名	農林水産課	
予算科目	06款	01項	02目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 ( 一般職員 ( 1 2 人 ) )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾市の農畜水産物の消費拡大
事務の対象 (誰(何)のために)	市民及び農業者・漁業者・関係団体等のため
事務の概要 (具体的に何を)	市内で生産される農畜水産物を振興展へ訪れた方へPR及び販売をする。西尾市で全国規模の農業・漁業関連の大会等が実施される際に合わせて、市内の物産をPRすることは効果的であるため、市内の生産者団体へ呼びかけて実施する振興展である。直近の実施は平成25年のあいち花フェスタ2013である。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.0人	0.0人	0.0人	
人 件 費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 27-033

事務の終了時期	平成31年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価	
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	1	効率性 公平性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		0	事務時間は適切なものになっているか		0
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		0	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		0
事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか		0	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		0		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント	西尾市内には、たくさんの農畜水産物が生産されているが知名度が低いため、このようなイベントでPRすることは有効かつ効果的であると考えます。妥当性の評価1については、ここ数年事務を実施していないため、評価する事業がないと考え評価を1としたが、全国規模の大会が市内で実施される際に、市が行うこと、有効性、効率性ともに適正であると考えます。				
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。			
	(理由)	西尾の特産品や農畜水産物を市民に知ってもらう良い機会であるため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	職員の負担軽減、時間外の削減の観点から民間委託による実施は可能であると考えます。				
事務全体の課題	最小限の経費で最大の効果をあげるため、県内外への告知方法や魅力ある企画立案が今後の課題となる。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	平成27年度に農業を知り、食を堪能するイベントが開催されている。主な内容として、地元の農産物販売や講演会、ステージイベントなど2日間実施している。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	なし
--------	----

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	実施していない事務については、一旦事務の廃止を検討してください。
----------	----------------------------------

# 西尾市事務評価シート

事務No.	27-034	事務内容	4Hクラブ・後継者育成に関すること				
総合計画施策コード	144	事務開始年度	平成23年度		担当課名	農林水産課	
予算科目	06款	01項	03目	大事業	12	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	各種団体等補助事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	農業における担い手の高齢化・後継者不足が深刻化する中、力強い持続可能な農業の実現を支援する。
事務の対象 (誰(何)のために)	西尾市において重要な産業のひとつである農業を将来にわたって維持していくため。
事務の概要 (具体的に何を)	農業後継者によって組織される団体の、会議や研修等の活動に要した費用の補助を行っている。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	510,000円	480,000円	450,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	1,217,298円	1,190,461円	1,168,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	1,217,298円	1,190,461円	1,168,991円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-26,837円	H29 総事務費③の対前年度比率	-2.20%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	補助金	80,000円×6団体	480,000円	

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	西尾市内における新規就農者数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		10人		9人		9人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	121,730円	132,273円	129,888円				

●事業の終期

事務No. 27-034

事務の終了時期	平成34年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性	市が実施することが適当であるか		4	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3	効率性	事務時間は適切なものになっているか	4
	妥当性	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4	公平性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4	公平性	受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0	公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント		農業における担い手の高齢化・後継者不足は深刻であり、力強い持続可能な農業の実現のためには事業を継続する必要がある。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	今後も農業の担い手対策は継続していく必要があるが、補助対象となる事業内容等はより時代に即したものになるよう検討する必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	農業の振興は市として行うことが適当であるため、民間委託・市民協働で行うことはできない。					
事務全体の課題	補助対象となる事業を定めておらず、各補助対象団体ごとの成果が見えにくい。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市：4Hクラブが実施するプロジェクト発表に対する補助を行っている。 B市：後継者等によって組織される団体への補助等は実施していない。 C市：農協青年部に対して補助を行っている。また、後継者団体が行う視察研修等の費用を補助している。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	団体の発展につながるような活動に対する補助にするなど、補助対象となる事業を精査する。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するため、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

# 西尾市事務評価シート

事務No.	27-035	事務内容	花嫁花婿対策事業に関すること				
総合計画施策コード	144		事務開始年度	平成23年度		担当課名	農林水産課
予算科目	06款	01項	03目	大事業	14		
事務事業名 (中事業名)	農家花嫁花婿対策事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	青年農業者と未婚女性が農業体験を通じて交流し、農業への理解を深めるとともに農家への花嫁対策を図る。
事務の対象 (誰(何)のために)	農業後継者を確保し、西尾市の農業を将来にわたって維持していくため。
事務の概要 (具体的に何を)	独身の農業者と未婚の女性を対象に農業体験イベントを開催し、農業への理解を深め、男女の出会いの場所を作る。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	260,000円	260,000円	200,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	967,298円	970,461円	918,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	967,299円	970,461円	918,991円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.33%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	委託料	農業体験ツアー 年2回		260,000円

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	女性募集人数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		20人		20人		20人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	女性参加者					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		13人		17人		20人	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		48,365円		48,523円		45,950円	

●事業の終期

事務No. 27-035

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか		4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		4	事務時間は適切なものになっているか	4		
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		4	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4		
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント	参加者の農業に対する理解を深めるという目的は達成できていると思うが、参加者が定員に達していない課題があり、告知方法を検討する必要がある。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	委託先の西尾4Hクラブ会員に独身者が少なくなってきたため、女性の参加者の方が多かったイベントもあった。今後は、企画政策課が担当している婚活事業と統合を図り、本事業はH30年度をもって廃止する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	農業者の後継者確保支援となる事業であり、民間委託又は市民協働で実施するものではないと考える。					
事務全体の課題	女性参加者の募集方法					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市:H30年度に農協が実施する婚活事業に対して補助を行った。B市:B市と近隣他市を開催地とする農協による婚活事業が隔年で開催されており、H31年度は開催地となるため、イベントへの補助を検討している。C市:H30年度のみ農協が主催する婚活イベントに対する補助を実施した。現時点では、今後は補助の予定なし。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	今後は、企画政策課が実施している婚活事業と統合を図り、本事業はH30年度をもって廃止する。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	上記改善案について、実施に向けて検討してください。
----------	---------------------------